

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐハウスⅢ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れができる	・医療的ケア児受け入れの看護師配置があり、多職種により専門的な支援が受けれる ・医師との連携が取れているため保護者様が安心して利用できる	・専門的支援加算により支援の充実を図る ・福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるよう努める
2	多様な専門性を持つ職員が子ども達の支援に関わる体制づくり	・保育士、理学療法士、看護師がそれぞれの専門性を生かして個々に合わせた支援を行っている ・他職種で連携を図り、同じ方向性をもって支援を行っている	・今後も多職種連携を継続し、よりよい支援につながるよう取り組む
3	職員が外部や内部研修を受講する機会や法人内等で研修に参加できる機会が確保されている	・研修参加できるよう業務調整を行い、研修機会の確保に努めている ・計画的に内部研修を行っている	・研修を受けた職員よりが伝達研修を行い、職員の質の向上を目指している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わり	・保護者様同士が顔を合わせる機会が少ないこと ・保護者様やご兄弟や参加できるイベントが少ないこと	・保護者交流会。保護者参観を開催し、保護者様同士の関わりや相談の場を提供していく。
2	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関わり	・公共施設や公園、店舗の利用等、地域に出かける機会がもっているが、地域の場の活用や子ども達と交流する機会はもてていない	・地域のイベント情報を積極的に収集し参加の機会を増やす ・地域の場の活用や地域の方との交流の方法を検討していく
3	・保護者様への非常時等の対応（緊急時・感染等）に対する周知・発信不足 ・訓練等実施していることの発信即	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知の機会が不足している ・SNS等を使っでの発信の機会が不足している	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認、見直しを行い、保護者様へ周知と必要に応じて冊子を作成する ・Instagramやおたより等を通じて保護者様へ取り組みを発信していく